

## 対応方針（2025プラン）の変更（桃崎病院）

資料 3 - 3

病床機能報告における 病床数（7月1日時点）			対応方針（2025プラン）の内容					備考（対応方針の 実施予定時期等）
機能区分	R4 現在	R7 予定	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数（2025）			
					機能区分	現行	変更後	
高 度 急性期			・慢性期機能を担う。 ・かかりつけや近隣施設からの紹介により治療やリハビリが必要な患者を受け入れる。高齢者総合診療として療養型でも回復期リハに近いレベルのリハビリサービスを提供し在宅復帰に貢献する。	・「地域が病棟、住まいが病室」と捉え、地域住民の病状変化に対し在宅患者の訪問診療や看取りのサービスを強化する。一方、病状により時間外を含めた入院対応も維持する。 ・慢性期病床の見直しを行い、介護療養病棟の介護医療院への移行を計画していたが、令和6年3月に廃止する。 ・令和7年に医療療養病棟90床を60床まで減床し、施設建替え計画に入る。	高 度 急性期			R6. 3月に介護療養病床32床を削減し、R7. 3月に医療療養病床30床を削減予定
急性期					急性期			
回復期					回復期			
慢性期	90	90			慢性期	90	<u>60</u>	
休 棟	32				休 棟			
合 計	122	90			合 計	90	<u>60</u>	